

社会福祉法人中央会 平成30年度事業報告

【施設方針】

施設理念「家のぬくもり、家族のつながり、地域のつながりのある暮らし」の実現に取り組む。

【行動方針】

1. 地域包括ケアシステムを見据えた運営

(1) 令和元年度グループホーム開設の決定

「金沢市平成30年度認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の整備」の公募に申請し選定された。このことにより地域包括ケアシステムの目的、「重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最後まで続ける」の実現に向け、地域の認知症高齢者が入居できる施設の充実を行うことができた。社会福祉法人中央会は総合的な高齢者福祉サービスを提供する地域の拠点法人をめざし一歩前進することになった。

(2) 平成30年度介護保険・医療保険制度改革

本年度の改革では医療・介護の役割分担（機能分化）と連携の一層の強化が求められた。金沢有松病院との連携で医療依存度の高い方、退院時期だが在宅に戻れない方の受け入れを積極的に行なうことができた。「地域高齢者が長期療養が必要になっても、日常生活上の介護を受けて暮らすことのできる施設」という独自性を発揮し、地域に存在感を示していくことはできた。しかし介護職の対応できる医行為は限定的であり夜間看護師配置のない施設において受け入れることのできる利用者に限りがあることは今後の課題である。

2. 経営基盤の強化と確率

(1) 基本報酬の改定

平成30年度介護報酬基本報酬改定が行われた。平成27年度の基本報酬マイナス改定以降は経営困難な状態が続いたが、ようやく特別養護老人ホーム・ショートステイにおいては基本報酬プラス改定だった。予測通り250万ほどの増収となった。

(2) 加算報酬の改定

各種加算報酬の改定が行われ、各事業所において加算取得に向けて要件を整えた結果、5事業所において「生活機能向上連携加算」、グループホームの「利用者が入院したときの費用の算定」、小規模多機能の「サービス提供体制加算」を新規に取得した。特に生活機能向上連携加算は、理学療法士と施設職員が協働して機能訓練に関わることで算定され、金沢有松病院との連携によって取得できたものである。

3. 事業所稼働率を上げ、介護保険収入を増やす

特養・グループホームの稼働率100%をめざし、金沢有松病院入院に対して早く空床利用者を見つけること、そして入院期間が長くなりそうな場合は一度退去し退院の時に優先的に再入居していただくように努めた。しかし病状が不安定なまま入院がだんだんと延びていくケースが多かったため、退院がいつになるのか目途のつかない状況では空床利用者を見つけることができず、空き部屋が続く状況となった。ショートステイの稼働率は103%と上昇した。小規模多機能・デイサービスでは地域の居宅介護支援事業所への営業活動の実績が出なかった。

4. 中央会グループ内での連携した運営

病院を退院して直接ショートに入居する利用者様の送迎については、家族が送迎を行うことは不安であり移乗介助の負担も大きい。また介護タクシーの場合、病院～施設間の送迎に対し介護保険が使えず実費となってしまう。そのため本年度からはショートステイ職員によるサービス送迎を行っている。また前年度によくみられた病院から直接ショートに来られる利用者様の、ショートを病院と同じような所だと勘違いをして来られたことから生じる苦情は、事前の説明を行うことで防ぐことができた。そして病状が安定せず介護職では対応の難しいケースも多かったが、施設と病院間で退院時情報共有により事故の発生は防げた。

5. ユニットケアおよび基本的ケアの見直し

平成30年度介護報酬改定では質の高いサービスに対して加算の創設や見直しが行われていることから、1年間を通して介護力向上委員会が、ユニットケアおよび基本的ケア（食事・口腔衛生・排泄・入浴・睡眠・アクティビティ）の見直しを行う研修会を開催した。職員は前向きに取り組んでいた。学んだケアを職員が同じレベルで行なえるようマニュアル化し、そして個々の入居者様のケアに活かすというPDCAサイクルを継続していくなかでレベルアップをめざす。

6. 備品の修繕・買換えの対策

電気代が値上げになり122万円支出が増え、前年度に続きエコキュート・機械浴・家電製品・車両の修理はあったが、支出総額としては減額できた。そのため医療法人社団中央会様からの寄付贈与1500万円を蓄えとすることができた。

7. 借入金償還の進捗状況

借入返済は順調に行われた。

令和元年にグループホーム北國銀行返済終了。令和2年に石川県バリアフリー施設整備促進融資返済終了。令和3年に石川県社会福祉協議会石川県社会福祉事業振興資金貸付が終了。今後は経営に若干余裕が出てくると思われる。

8. 「お気楽教室」の今後の活動

社会福祉法人の責務として、社会福祉法人が持つ資源や機能を活用し「地域における公益的な取組」を行なうため、歩ける地域高齢者を対象に「お気楽教室」を開催し健康づくり、買い物や四季折々の外出を支援していたが、職員の捻出が難しいため現在は休止状態となっている。そのほかの取り組みとして、金沢市一斉清掃・校下防災訓練参加、地域行事の参加そして小学校の生涯学習、中学校の職場体験、高校生・大学生のサマーボランティア、福祉系専門学校・看護専門学校等の実習生の受け入れなどは継続して行っている。本年度から、高校生に少しでも福祉の仕事に興味をもってもらうために金沢高校・伏見高校からインターンシップの受け入れを行った。

9. 事業所目標

特別養護老人ホーム

(1) 入居者様の生活に合わせたユニットケアの見直しを行なう

「意識的にケアするよう努力をした」「できなかった」等の意見があり、意欲や経験により個人差がみられた。ボトムアップができるよう検討していきたい。

(2) 職員1人ひとりが気づきを発信し他職種の連携をめざす

新人職員において気づきがあっても相談できていなかったとの意見があった。連携しやすい雰囲気づくり、連携方法の工夫を行っていきたい。

(3) 看取りケアの基本を見直し学ぶ

今年度は看取りの方がいらっしゃらなかったこともあり、現場に立ち会う機会がなかったが、事業所内での勉強会を継続して開催した。

ショートステイ

(1) 個々の状態に応じたサービスを提供していく

状態に応じたサービスが提供できるように努力できた

(2) 常に向上心をもつ

個人差はあるが向上心をもって取り組んでいく雰囲気づくりができた。

(3) 笑顔で優しく寄り添いながら、尊敬の気持ちを持って接していく

「尊敬の意持ちをもち笑顔」はお互いに気を付け合うことができたが、まだ改善しなければならない接遇もあった。

グループホーム

(1) 目線を合わせて、目を見て会話する

立って見下ろして話すなどのような上から目線での会話は少なくなった。

(2) ケアが1番、業務が2番、3時のおやつはみんなで一緒、チームワークで頑張ろう

ケアが1番は皆が意識していたが、いつも継続することは難しく業務優先になることもあった。横に座っておやつを一緒には最初はできていたが継続できていなかった。チームワークについては思いやりが欠けていたとの反省もあった。

小規模多機能

- (1) 親しみやすく家庭的な環境をめざし、温かく思いやりのある環境を心がけよう
利用者様と目線を合わせて言葉かけや会話をすることができた。しかし接遇ができていないとの反省の声もあった。
- (2) 正確な情報共有のため、職員間で声かけを増やしコミュニケーションを良くしよう
職員間のコミュニケーションはとれており、申し送りで情報を伝達・共有できた。日々の変化に追いつけず情報内容として不足していることもあった。
- (3) 事業所評価に取り組んで、自分たちのケアを見直し、毎日のケアにつなげていこう
事業所評価に取り組み、ケアの評価はできた。評価を毎日の業務に反映することについてはまだ不十分だった。利用者様の「～したい」の思いを引き出すように努めたが実現につながらないこともあり、今後も実現にむけて取り組んでいく。

デイサービス

- (1) 相手を尊重する心を持ち丁寧な言葉使いをする
心がけているが、利用者様の口調につられて崩れてしまうこともあった。主任・リーダーから注意を受けることもあり、言葉使いは継続して目標にしていく。
- (2) 利用者様の目標を支援する個別的なケアを行う
 - ・一人ひとりのプランを把握できていないこともあった。
 - ・個別機能訓練ではご本人、家族の意向に沿ってプログラム変更がスムーズにできるような多職種連携が必要だった。
 - ・自立支援であるはずが、できることも手伝いすぎてしまうことがあった。
 - ・担当利用者様についてケース入力が多かった。担当を意識して観察・記録を行っていきたい。
- (3) 明るく元気にチーム力を発揮し利用者様が楽しんで頂ける空間を作ろう
 - ・新しいレクリエーションを企画し楽しんでいただけた。
 - ・職員一人一人は元気で明るかったが、チームワーク不足の場面もあった。
 - ・業務に時間を取られ、ゆったりとした接遇ができず寂しい思いをされた時間帯や日もあったと思う。利用者様の様子を常に気にかけてチーム全体で利用者様に寄り添っていく。

看護部

- (1) 情報を共有し、統一した看護を提供する
- (2) 報・連・相を心がけ看護職員が同じレベルのケアや指示ができるようにする
申し送りノートを活用し、情報を共有し、処置などの統一したケアはできた。また看護部内での報・連・相はできたと思うが、判断力のばらつきがあり一部達成できていない。

栄養部

- (1) 利用者様の身体の状態に合わせた食事を提供する
マンネリ化にならないよう、食材を見直して味にメリハリをつけている。職員と情報交換はできたが、積極的な意見交換には足りなかった。
- (2) 安全安心かつ楽しく食べて頂ける食事を提供する
旬の食材を使った献立を積極的に取り入れた。セレクト食にスパゲティ・ラーメン等の新たなメニューを取り入れた。行事食やイベント食の内容が固定化してきた反省もあるので新たな楽しめる献立を考えていきたい。

事務部

- (1) 各部署と連携して情報の共有をし、丁寧な対応をする
他部署との連携は改善できたが、まだ足りない部分も多くある。また他部署との連携の強化を行うにあたり、まずは部署内での連携をより強化していくことを目標とする。
- (2) 来訪者が来られたら笑顔ですぐに立ち上がり、良い接遇を行う
来訪者により良い接遇を常日頃から心がけた。今後も継続していく。
- (3) 施設内、建物周辺、テラスなどの環境を整える
環境やしつらいの点検や手入れは当番制で行っている。今後も利用者様に喜んでいただけるように環境を整えていく。

10. 特別養護老人ホーム入退所（定員29名）

[H30年4月1日 ～ H31年3月31日]

年 度	区 分 月	新 規 入 所 者			退 所 者						
		在宅	その他 (他施設から 転入等)	病院	計	家庭 復帰	医療機 関入院	他施設 へ転出	在籍入 院中に 死亡	看取り 死亡	計
平成 30 年 度	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9	1			1		1				1
	10										
	11	1			1		1				1
	12		1		1		1				1
	1										
	2										
	3										
		計	2	1		3		3			

11. 救急車搬送状況

[H30年4月1日 ~ H31年3月31日]

年度	月	件数	部署	状況
平成30年度	4	0		
	5	1	特養	意識レベル低下 一過性脳虚血発作の疑い
	6	1	ショートステイ	転落し打撲痛
	7	1	グループホーム	右手振戦・意識レベル低下 痙攣重責発作
	8	0		
	9	1	特養	嘔吐頻回
	10	2	ショートステイ	SP02低下し呼吸状態悪化
			グループホーム	転倒し打撲痛
	11	2	特養	意識消失 ヒステリー発作
			特養	けいれん発作
	12	2	特養	SP02低下し呼吸状態悪化
			ショートステイ	徐脈
	1	2	ショートステイ	腹痛 腹部膨満 尿閉
グループホーム			右上下肢麻痺 脳内出血	
2	0			
3	1	グループホーム	激しい腰痛 腰椎すべり症	
合計件数		13		

12. 事故発生状況（金沢市報告）

[H30年4月1日 ~ H31年3月31日]

部署	件数	状況	
特養	0		
ショートステイ	5	右股関節挫傷	ナースコールは引っ張ったため脱落している。居室のベッドからずり降りドアの途中で横たわっている。
		左上腕骨折	自宅で転倒し頭部裂傷と左肋骨骨折の疑いで入所。入所後左腕の痛み訴えあり受診し左上腕骨折の診断
		左上腕打撲	トイレで転倒し、左上腕部打撲
		頭部・足部打撲	トイレで手洗い時、後ろに転倒し打撲。
		右足第3指外傷	車いす移乗時、爪をひっかけて剥離し出血
グループホーム	5	臀部打撲	面会に来られた家族の見送り時、立ち上がった際に転倒
		右肩陥没骨折	ご家族と病院受診時、駐車場で乗車時に倒れ肩を車にぶつける
		右手第5指骨折	夜間、洗面台前でバランスを崩して転倒
		左足打撲	畳コーナーで座りそこない転倒
		両膝打撲	トイレを汚してしまい、ご自分で片付けようとして転倒
小規模多機能	1	左橈骨骨折	夜間、コールせずに1人でトイレに行こうとして転倒
デイサービス	1	顔面打撲・裂傷	来所時、足元フラツキ転倒し顔面をぶつける

13. 職員の採用・退職の状況

[H30年4月1日 ~ H31年3月31日]

職種別	施設長	事務長	事務員	直接処遇職員				栄養士	理学療法士	作業療法士	宿直	合計
				生活相談員	介護職員	看護職員	小計					
平成 30 年度	採用		1		5 (2)	(2)	5 (4)					6 (4)
	退職				6 (6)	1	7 (6)					7 (6)
	3月末職員数	1	1	2 (1)	1	54 (14)	4 (3)	62 (18)	1		(2)	67 (21)

()はパート等非常勤人数

14. 施設職員の研修状況

[H30年4月1日 ~ H31年3月31日]

	回数 (延べ人数)	
新人研修	2回 (12名)	倫理・法令遵守とケア指標 防災 事故防止 身体拘束排除 プライバシー保護など
職場外研修	46回 (91名)	石川県社会福祉協議会 福祉総合研修センター等の研修会
職場内研修	20回 (353名)	緊急時の対応 ユニットケアについて (食事・口腔衛生・入浴・排泄・睡眠)
		アクティビティ 認知症ケア 感染 (吐物処理) 事故防止 身体拘束
		看取り介護について
		転倒外傷時の対応 胸痛腹痛時の対応
外部講師研修会	7回 (159名)	新人研修・接遇フォローアップ研修・中堅リーダー研修
		排便ケア概論・排便コントロール

■合計資金収支比較

	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
事業活動収入	329,260,422	345,021,821	348,840,442	401,776,992	422,535,137	424,168,645	435,544,661	549,375,014
事業活動支出	271,978,125	290,512,749	302,015,685	348,877,098	384,733,677	385,008,441	394,673,878	391,794,951
事業活動資金収支差額	57,282,297	54,509,072	46,824,757	52,899,894	37,801,460	39,160,204	40,870,783	157,580,063
当期資金収支差額合計	45,775,040	33,903,593	-8,134,895	-84,913,222	2,954,170	-380,956	3,280,692	116,765,149

グループホーム開設

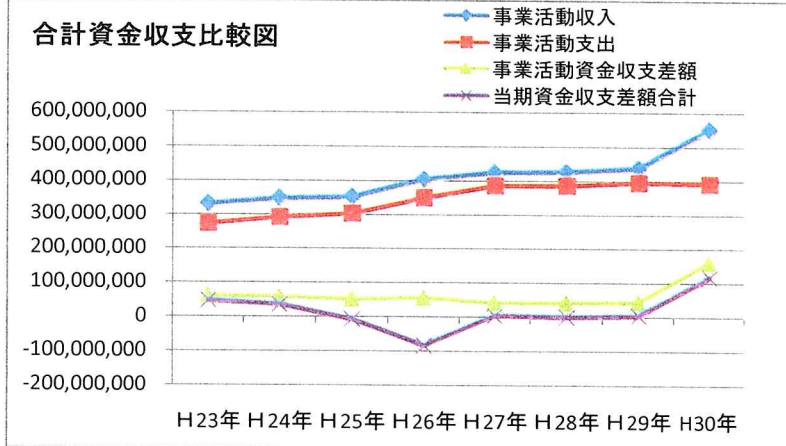
介護報酬減額
介護職員処遇改善加算の増額
職員基本給一万円アップ

借入金償還額ピーク
(3400万円)
家電品の修理・買換え
パソコンのサーバー入替え

病院より寄付金1500万円
機械浴修理 避難誘導灯ランプ交換
デイ風呂クロス張替 LED工事

病院より寄付金1億1500万円
水道光熱費(電気代値上影響受け)昨年と比較し、122万円UP
介護報酬増額

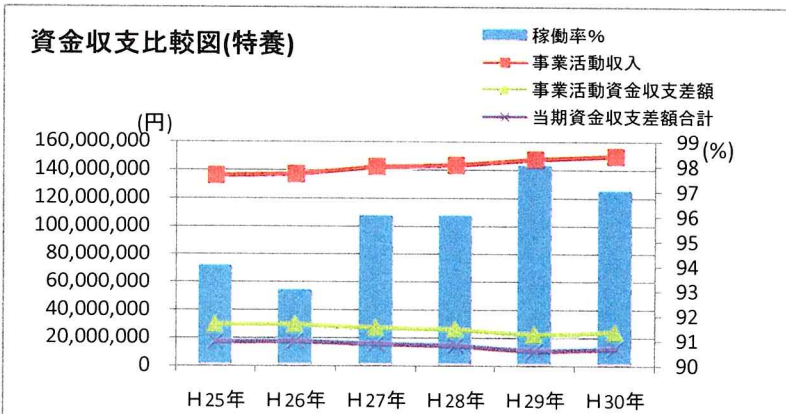
合計資金収支比較図



■資金収支比較(特養)

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
稼働率%	94	93	96	96	98	97
事業活動収入	135,880,891	136,823,112	142,151,979	143,267,489	147,278,770	149,614,174
事業活動資金収支差額	28,704,013	28,683,499	26,258,580	25,313,988	21,480,041	23,116,524
当期資金収支差額合計	16,667,747	17,055,048	15,020,873	13,959,031	9,948,065	11,663,563

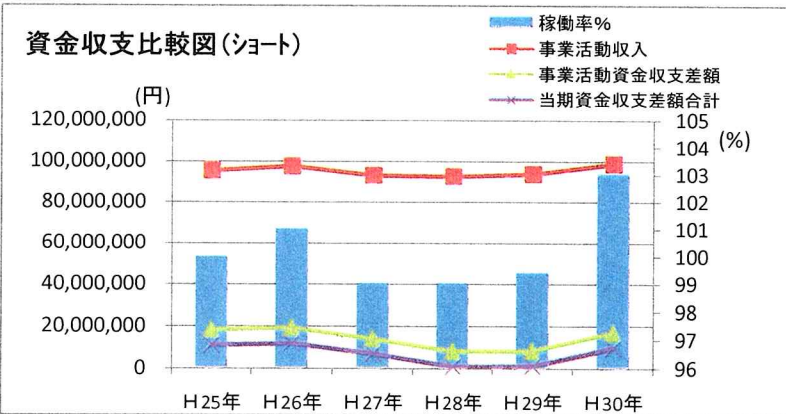
資金収支比較図(特養)



■資金収支比較(ショート)

	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
稼働率%	100	101	99	99	99	103
事業活動収入	95,371,348	97,571,033	93,177,443	92,711,780	93,900,668	98,811,788
事業活動資金収支差額	17,954,758	18,816,229	13,581,809	7,725,407	7,971,484	16,513,535
当期資金収支差額合計	10,914,112	11,801,699	7,002,627	948,688	1,208,593	9,746,459

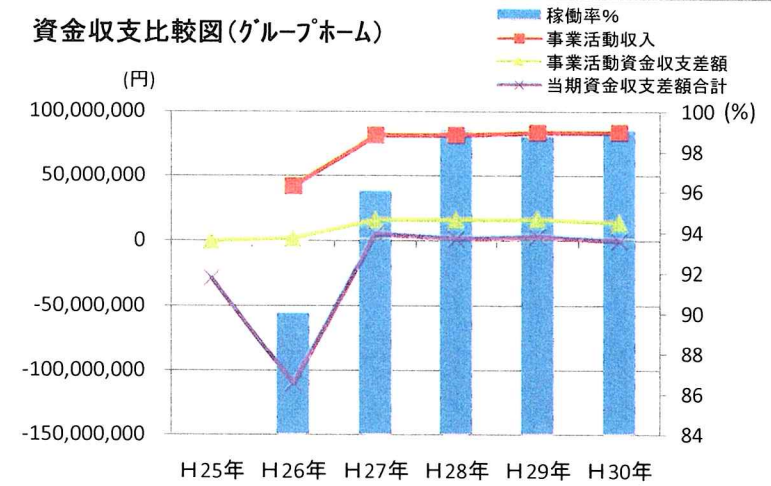
資金収支比較図(ショート)



■資金収支比較(グループホーム)

		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
G H	稼働率%		90	96	99	99	99
	事業活動収入		41,518,912	81,425,963	81,473,553	83,474,814	83,632,059
	事業活動資金収支差額	-1,189,583	866,957	14,768,653	14,947,148	15,321,896	12,899,542
	当期資金収支差額合計	-28,749,583	-110,268,935	5,288,386	1,269,856	3,073,672	-272,542

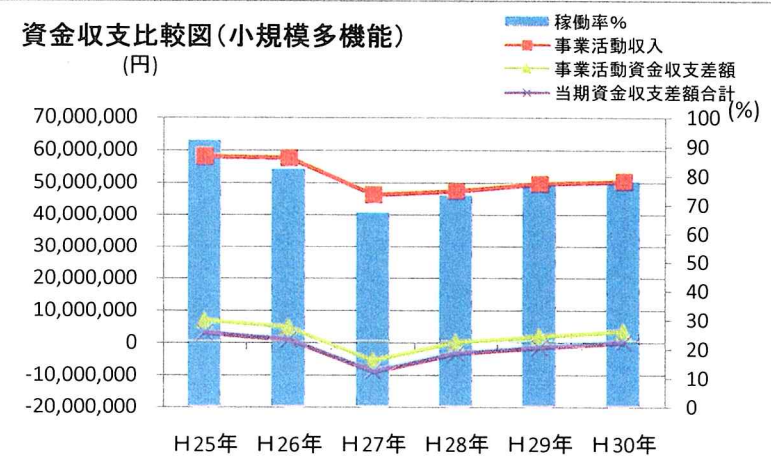
資金収支比較図(グループホーム)



■資金収支比較(小規模多機能)

		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
小 規 模	稼働率%	92	82	67	73	78	78
	事業活動収入	57,841,244	57,455,598	46,101,530	47,265,785	49,555,204	50,281,517
	事業活動資金収支差額	6,458,835	4,345,766	-5,971,327	-277,614	1,510,557	3,030,001
	当期資金収支差額合計	2,879,180	765,433	-9,073,594	-3,446,369	-1,585,929	-28,298

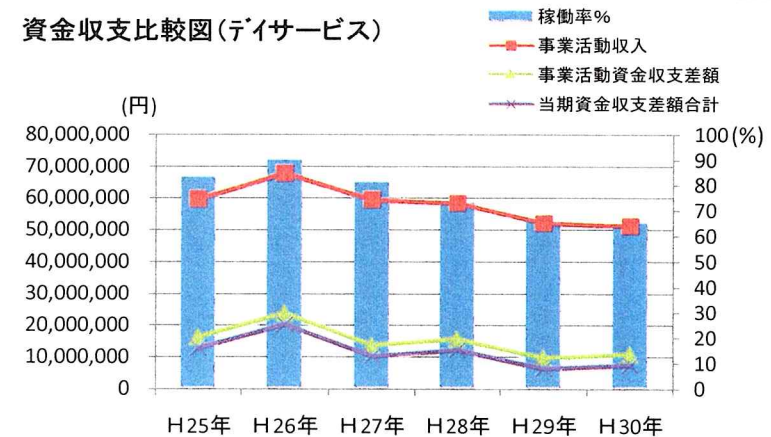
資金収支比較図(小規模多機能)



■資金収支比較(デイサービス)

		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
デ イ ス ー ビ ス	稼働率%	83	90	81	73	66	65
	事業活動収入	59,456,832	67,570,641	59,223,220	58,252,109	51,968,513	51,107,965
	事業活動資金収支差額	15,836,433	23,448,624	13,263,971	15,306,598	9,379,163	10,462,771
	当期資金収支差額合計	12,604,826	20,092,683	10,044,102	12,036,539	6,231,044	7,315,873

資金収支比較図(デイサービス)



借入金償還計画表

(単位:千円)

借入先	グループホーム壱番館						特別養護老人ホーム											
	北國銀行			石川県社会福祉協議会			石川県バリアフリー (施設整備促進融資)			石川県社会福祉協議会 (金沢市社会福祉施設整備 振興資金貸付)			金沢市 (金沢市社会福祉施設整備 資金等資金貸付)			独立行政法人福祉医療機構		
償還期間	5年			11年			10年			11年			20年			20年		
据置	4ヶ月			1年			なし			1年			なし			2年		
予定利率	0.80%			無利息			1.00%			無利息			無利息			1.10% (10年後見直し) 変動金利の為、随時変動		
借入金額	50,000千円			20,000千円			30,000千円			20,000千円			100,000千円			200,000千円		
返済期間	H27.1.28～令和8.28返済			H28.10.31～R7.10.31返済			H22.9.30～R2.8.31返済			H24.8.31～R3.8.31返済			H23.8.11～R12.8.11返済			H24.9.10～R12.9.10返済		
償還年次	償還額			償還額			償還額			償還額			償還額			償還額		
	元金	利息	合計	元金	利息	合計	元金	利息	合計	元金	利息	合計	元金	利息	合計	元金	利息	合計
平成22年							1,750	170	1,920									
23年							2,750	246	2,996							0	990	990
24年							3,000	238	3,238	2,000		2,000	5,000		5,000	0	2,200	2,200
25年							3,250	224	3,474	2,000		2,000	5,000		5,000	8,900	2,174	11,074
26年	2,544	181	2,725				3,000	176	3,176	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	2,057	12,977
27年	10,176	338	10,514				3,000	147	3,147	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	1,937	12,857
28年	10,176	181	10,357	2,000		2,000	3,000	未定	3,000	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	1,817	12,737
29年	10,176		10,176	2,000		2,000	3,000	未定	3,000	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	1,697	12,617
30年	10,176		10,176	2,000		2,000	3,000	未定	3,000	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	1,577	12,497
平成31年/令和元年	6,752		6,752	2,000		2,000	3,000	未定	3,000	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	1,456	12,376
2年				2,000		2,000	1,250	未定	1,250	2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	未定	10,920
3年				2,000		2,000				2,000		2,000	5,000		5,000	10,920	未定	10,920
4年				2,000		2,000							5,000		5,000	10,920	未定	10,920
5年				2,000		2,000							5,000		5,000	10,920	未定	10,920
6年				2,000		2,000							5,000		5,000	10,920	未定	10,920
7年				2,000		2,000							5,000		5,000	10,920	未定	10,920
8年													5,000		5,000	10,920	未定	10,920
9年													5,000		5,000	10,920	未定	10,920
10年													5,000		5,000	10,920	未定	10,920
11年													5,000		5,000	10,920	未定	10,920
12年													5,000		5,000	10,920	未定	10,920
合計			6,752			20,000			31,201			20,000			100,000			217,241

グループホーム壱番館

令和元年「北國銀行」返済終了

令和7年「石川県社会福祉協議会」返済終了

特別養護老人ホーム

令和2年「石川県バリアフリー(施設整備促進融資)」返済終了

令和3年「石川県社会福祉協議会(金沢市社会福祉施設整備振興資金貸付)」返済完了

令和12年「金沢市(金沢市社会福祉施設整備資金等資金貸付)」返済完了

「独立行政法人福祉医療機構」返済完了